

中・長期計画

平成30年～平成35年

平成30年2月28日作成

社会福祉法人 倉吉愛児園

1 目 標

昭和10年に設立した倉吉愛児園は、その後の発展と継続を維持し現在に至っている。少子化の影響が大きな時期に来ているが、保育所設立の理念・保育の目標の誠実な実行を果たしていくことで、保護者に信頼される保育所を維持し、今後に繋げて行くことを目標とする。

保育理念

己が子を愛するはこれ人の常 他人の子を愛するはこれ神の心
神の心を心とし 全く無私の立場で 園児の生命を守り 個性の進展
を期す

基本目標

心身共に健全なる日本の子どもの育成に努める
愛育の精神に徹する
差別をしないで生き生きとした子どもづくりを目指す

保育目標

元気よく きまりよく 楽しく

2 中・長期計画の内容

1 倉吉愛児園の安定運営の継続

これまでの経験を活かしつつ、職員の意見を取り入れ、アイデアを出し合いながら、安定した運営を継続する。

保護者の意向を尊重しながら事業展開ができるよう、父母の会との連携を図りながら各種の行事に取り組んで行く。

(1) 保育内容関係

保育目標の実現に向けて、全体的な計画に沿った保育計画を立案し、実施する。会議などを通して、職員間で保育に取り組む意識が共有できるようにし、統一感のある保育を展開する。

- ・新規採用の職員が2名。園の取り組みに早く慣れられるよう、指導助言をする。
- ・安定的な保育の実現に向け、日々の保育の中で課題を見つけ出し、解決を図る。
- ・保育を行う中で必要となった備品等を整備し、環境の充実を図る。
- ・職責、経験年数に合った研修を極力受講し、他の職員に伝え合う。
- ・前年度の結果を受け、職員体制を検証しつつ、資質の向上をめざし内部研修、園外研修を充実させる。
- ・中堅職員が、3歳以上児クラスが担当できるよう、指導助言を行い育てる。

- ・スポーツライミングの設備を、年齢に合わせ計画的に使用し、体系的な取り組みを継続する。

(2) 施設の充実

- ・1歳児の入所スペースを広げるため、つつじ1組の部屋の改装と拡張工事を行う。
- ・1号棟1階トイレへの出入り口を別に設け、トイレの効率的な使用を図る。

(3) 制度上の変更

- ・認定こども園への移行に向けて取り組む（平成31年4月には認定こども園化する）。
- ・土曜日の行事は、職員が出勤となるため指定休が取りにくくなってしまふ。保護者の理解を得ながら土・日以外で行事を行う時も設け、様子を見る。
- ・幼稚園免許状の更新が必要な職員は、計画的に更新手続きを取る。

(3) 地域ニーズの把握

- ・地域の関係機関との連携を継続しながら、事業の展開を充実させる。

(4) 職員の動静

- ・異動がないものとして計画し、異動があれば速やかに補充する。

(5) 建物

- ・外壁…汚れた部分は高圧水洗し、早期に塗装し、維持管理に努める。
- ・内部…汚れた部分・剥げた部分は塗装修理し、常に清潔に保つ。

(6) 鉄部

- ・酸性雨により錆が早く出るので、早めに補修を行うことで維持に努める。

(7) 外の遊具

- ・色あせた遊具は、塗り替えたり交換するなどし、新鮮さを保つ。
- ・園庭は常に風雨にさらされ日々変化するので、土を補充し斜面を維持するなど、ゆるやかな排水が出来るようにする。